

日本一の読書のまち三郷だより

No.49
平成26年
3月
三郷市教育委員会

「日本一の読書のまち」宣言から1年・読書推進が進む

昨年、「日本一の読書のまち三郷」宣言をしてから約1年が経過しました。この間、市民総ぐるみでの読書推進が前進してきました。

- ・宣言記念柳田邦男氏講演会開催
 - ・図書予算の増加
 - ・教育委員会に読書活動推進担当者を配置
 - ・市3図書館4図書室の開館時間延長
 - ・らんどせるブックスタート実施
 - ・こども司書養成の拡大
 - ・市の行事等で読みきかせや群読を実施
 - ・読書フェスティバルの内容拡大
 - ・家読ゆうびんコンクールの応募数増加
 - ・市図書館講座・催し物の拡大
- (ビブリオバトル講座・親子感想文講座・ワークショップ等)

- ・市民の読書への関心が向上
- ・子育て支援センターや保育所等で保護者向け読書のすすめ講座増加
- ・学校図書館貸出冊数の増加
- ・学校図書館を各教科の授業で活用する機会の増加
- ・学校図書館の調べ学習への市図書館の支援拡大
- ・市のホームページで読書活動特集ページ設置
- ・三郷の民話「手作り布絵本」の複写製本化
- ・市立図書館&郷土資料館の移転新築着工
- ・視察の増加

すごいね!



<ビブリオバトル開催>

★早稲田図書館で



2/16 早稲田図書館は第2回成人向きビブリオバトルを開催しました。本の紹介者(パトラー)は前回の3名から5名に増え、観戦者も増えました。少しずつそのおもしろさが浸透して来ています。今回のチャンプ本は『街場の現代思想』内田樹/著。

学校図書館の展示コーナー紹介



早稲田小・学校図書館の「ひなまつり」特設コーナー

★立花小・彦郷小合同でミニビブリオバトル



2/4 立花小・彦郷小の代表各3名が相手校を訪れ、6年生全員の前で本を紹介し、読んでみたい本・チャンプ本を決めました。本の魅力を伝えるプレゼン力や聞く力が素晴らしい読書交流会になりました。チャンプ本は『新版宿題ひきうけ株式会社』古田足日/作と『真夜中の図書館』ニック・シャドウ/作です。

各小学校で読書ライブ開催



2/24 前谷小学校でノンフィクション作家の今西乃子さんによるお話会(読書ライブ)が開催されました。また、今年度は、新和小や彦郷小では絵本作家の浜田桂子さんを招いて、お話を聞きました。作家に直にお話を聞くことで、著作への理解が深くなります。各学校とも貴重な機会を設けることで本への関心を高めたり、深めたりする努力をしています。

第3回子ども読書活動推進協議会 2/21に開催

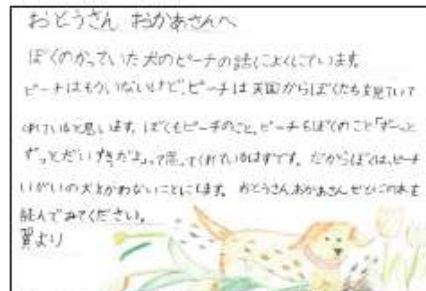
2/21に25年度第3回子ども読書活動推進協議会が市役所で開催されました。12月に実施した読書アンケート結果や市立図書館&資料館建設状況の報告がなされました。その後は、これから『日本一の読書のまち三郷』をいかに推進していくのか、グループで討論が活発に行われました。

図書館及び視聴覚ライブラリー協議会 2/18に開催

図書館法第14条の規定に基づき公立図書館の運営に関し、館長の諮問に応じて、意見を述べるために設けられている機関です。公募による一般市民も委員として参画しています。

家読ゆうびんコンクール 往復部門 市長賞 3作品

家族あての読書ゆうびん(往信)とそれに対する家族からの返事の読書ゆうびん(返信)のセット往復作品の部門です。往復部門 4,143 作品のうち3組の家族が市長賞を受賞しました。作品には本や家族への思いがあふれています。



息子からおとうさん・おかあさんへ
八木郷小2年 青柳 翼

「子」と「つ」と「た」のつなぎたいすきだよ
ハンス・ウィルヘルム作
評論社



おとうさん・おかあさんから息子へ
青柳 博憲

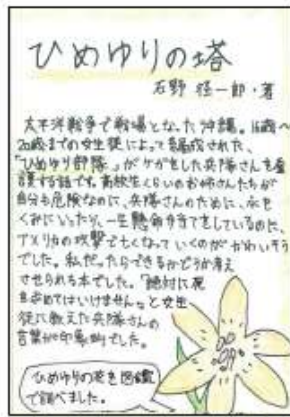


娘から母へ
瑞穂中1年 鈴木 莉子

「精霊の守り人」
上原菜穂子作
借成社



母から娘へ
鈴木 洋子



娘から母へ
早稲田中1年
濱口 紗英

「ひめゆりの塔」
石野径一郎作
旺文社文庫



母から娘へ
濱口 妙恵子

図書館で職場体験



今年度も市の3図書館で約30名の中学生が3日間職場体験をしました。「図書館は表から見えない仕事がいっぱいです。良い体験です。」(中学生の感想から)

※2/24~3/7
5年に1度の図書館システム入れ替え及び蔵書点検のため3図書館4図書室とも休館中です。